

臨時職員等の募集について

町では、平成25年4月1日採用の臨時職員等を募集します。
詳しくは、「南三陸町臨時職員等募集チラシ」をご覧ください。

問い合わせ 総務課人事係 ☎46-1370

パブリック・コメント

パブリック・コメント制度により提出された意見に対する町の考え方について、以下の方法により公表します。

◇意見提出のあった計画（素案）

南三陸町病院建設基本計画（素案）

◇公表の方法

町及び病院ホームページに掲載するほか、公立南三陸診療所及び歌津総合支所で閲覧できます。

問い合わせ 公立志津川病院総務課 ☎46-3664

住所異動にともなう 給水開始や中止の業務

次の期間は、水道の給水開始や中止などの業務を行います。

◇開設日

3月30日(土)から3月31日(日)まで

◇受付時間

午前8時30分から午後5時15分

◇開設場所

上下水道事業所窓口（役場庁舎1階）

◇業務内容

水道の給水開始・中止の業務、上下水道料金の収納業務

※水道の給水開始・中止の手続きの際は、印鑑を持参してください。

問い合わせ 南三陸町ウォーターサービス ☎0120-037-132

今月の移動町長室は、 3月25日(月)です。

時間 午後1時から4時

◇問い合わせ

歌津総合支所地域生活課 ☎36-2111

町内における空間 放射線量測定情報

■空間放射線量

(単位：マイクロシーベルト/時、地表からの高さ50センチメートルにて測定、測定日：2月1日から10日)

測定地点	測定値	測定地点	測定値
役場庁舎	0.05	志津川小学校	0.07
神割崎	0.07	入谷小学校	0.08
波伝谷漁港	0.05	伊里前小学校	0.05
水尻川中流部	0.06	志津川中学校	0.08
入谷さんさん館	0.09	歌津中学校	0.07
伊里前川中流部	0.07	志津川保育所	0.08
吉野沢団地	0.06	伊里前保育所	0.06
泊浜	0.05	名足保育所	0.06
名足仮設団地	0.06	平成の森(地表1m)	0.04
水塚峠	0.10	田束山頂	積雪のため調査不能

現在、環境省が定めた除染のガイドラインとして、1時間当たり0.23マイクロシーベルト以上(年間1ミリシーベルト以上)の放射線量が計測された場合は除染作業を行うことと定められておりますが、上記の表のとおり町内に該当する場所はありません。

■水道水中の放射性物質測定結果について

前回と変更ありません。(当町の水道水は食品衛生法の基準を満たしています。)

問い合わせ 環境対策課 ☎46-5528

■町内産農林水産物中の放射性セシウム測定結果

(単位：ベクレル/kg)

◇結果：基準を満たしています。(基準値=100ベクレル/kg)

品目	採取日	測定値 (検出下限値)
ハウス いちご、なばな	1月7日(月) ～1月21日(月)	不検出 (10未満)
生ワカメ、生メカブ、マダラ	1月10日(木) ～2月1日(金)	不検出 (16.415未満)
マダラ	1月21日(月)	5.950 (7.848)
	1月25日(金)	41.300 (7.360)
	1月28日(月)	10.110 (7.250)

■町内産農林水産物の出荷制限（2月10日現在）

県等による放射線検査を実施した結果、露地栽培の原木しいたけ、こしあぶら、イノシシ肉、クマ肉、クロダイ、スズキについて引き続き出荷制限が行われております。(※市場には流通していません。)

問い合わせ 産業振興課 ☎46-1378

庄内の風 ⑬

友好町の山形県庄内町を紹介する情報コーナー

槇島ほうき

庄内町の槇島集落では、昔ながらの方法で座敷用のほうきを手作りしてきました。材料となる「ほうききび」の種を春に植え、夏に収穫し、天日乾燥・選別を経て冬の農閑期に作り、行商して得た収入は、貴重な生活の糧となっていました。



時代の流れとともに作り手が減少し、伝統が途絶えそうになっていましたが、平成22年に「槇島ほうき手作りの会」を立ち上げて活動を始めました。

手間暇かけて作られたほうきは、軽く、しなりがよくて、最初は家の座敷に使用し、玄関、その後は農作業小屋の掃除用にと20年以上も使い続けることができるほど丈夫です。手作りの伝統を守るとともに、カラフルな糸を使ったり、手頃なサイズのものを作ったりと新たなスタイルも生み出しています。今年度は「槇島ほうき応援隊」と称した町内外のボランティア約100名の協力もあり、ほうきが繋ぐ活動の輪がさらに広がっています。

庄内町観光協会(町商工観光課内) ☎0234-42-2922

復興応援大使 リレー通信 ⑧

各地で南三陸町の地域ブランドのPRや復興まちづくりの状況をお知らせいただいている南三陸町復興応援大使の皆さんの声をお届けする「復興応援大使リレー通信」を連載しています。

今回は、ストレスケアカウンセラーで、震災後、社会福祉協議会と協力し、様々な支援活動をいただいている、加藤ゆかりさんです。



復興応援大使

加藤 ゆかり さん
(仙台市)

親愛なる南三陸町のみなさまへ

東日本大震災から3月で丸2年、さまざまな心境で迎えている事でしょう。心を新たに復興を力強く誓う方、また悲しみを思い出し、つらい思いをされている方も多いのではないのでしょうか。心中お察し申し上げます。

私は仙台に住んでおりますが、南三陸町に通う道は、この2年有り難きスピードで整備されてきていることを実感します。変化するためのベースが整ってきたと言う感じでしょうか。今年は防災集団移転促進事業の造成工事などはじまるということで、復興をより実感できる年になりそうですね。皆様にとって明るい未来が予見できる素敵な一年になることを祈念いたします。

私は、震災直後からストレスケアカウンセラーとしてボランティアセンターでスタッフなどのケアをさせていただいています。そんな立場から『ストレス』について、ちょっとお話しさせていただきます。

ストレスは「脳の疲労」のことをいいます。脳は私たちのすべてをコントロールする大切な司令塔です。ここが疲れてしまうと、ちょっとした事がとても気になったり、怒

りっぽくなったり、気分が落ち込んで変えられなくなったり、仕事の効率が目に見えて低下したり、眠れなくなったりと、心や身体にさまざまなアンバランスがおきてきます。

環境の変化に慣れるため、脳は日々苦戦を強いられています。そこに他の刺激が加わると、すこぶる疲労が増すのです。

まずは、脳を元気にさせることが大切です。身体を整えると脳は元気になっていきます。

身体を休ませることに熱心になりましょう。バランスの良い食事をとりましょう。私たちの身体は60パーセント以上が水でできています。良質の水をとることを心がけましょう。筋肉は脳の栄養源、筋肉を柔らかくしなやかに整え、姿勢をただすことがとても大切です。そして、たくさん笑いましょう。口角をあげるだけでも効果があります。

脳が元気になったら、受け止め方を成長させましょう。ストレスがあるから、私たちはその経験を生かして進化できます。ストレスをコントロールしながら上手につきあっていくと、生きることがとてもラクになってきますよ。